

明倫新聞

発行：「学校を元気に!」の新聞部
石川県立野々市
明倫高等学校
野々市市市下林3-309

人生はロマン。自分不幸だと悩むのではなく試練を与えられた物語の主人公だと思えば、人生をエンジョイできる。 美輪明宏

明倫祭 制約の中開催 コロナ対策に工夫凝らす



明倫祭を楽しむ生徒=マイクロ駐車場

明倫祭は今年度で38回目となった。日本全国で新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあつて開催が危ぶまれたが、感染防止対策の徹底、期間を2日から1日に短縮するなど内容を吟味

し、実施に至った。他にも合唱コンクールなどの中止、保護者を含む外部来場者の来場禁止など、多くの変更点があつた。

野々市明倫高校で8月22日に明倫祭が開催された。今年の明倫祭は新型コロナウイルスの流行により、例年なら2日間のところを1日に短縮して行われた。1年生はクラス企画、2年生はステージ発表、3年生は模擬店を行った。

は「ここまで明倫祭を牽引した生徒会役員、共に協力しあつた仲間、それを支えた先生方、PTA、協力をいただいた方に感謝の気持ちを持ち、明倫祭を成功まで導いていただきました」と熱く語つた。

体育館ではステージ発表が行われ、吹奏楽部による演奏披露、2年生による人氣曲に合わせたダンスが披露された。ダンスでは先生を交えるクラスもあり、会場を盛り上げた。

模擬店では生徒が食券を手に並び、シールド越しに3年生が食券と調理済みの商品を交換してい

た。店員の安本雄貴君は「模擬店で、お昼の混む時間帯を担当しました。3密を避けることを徹底し、新型コロナウイルス感染防止対策を行うことができた。マスクを外して

いる人が何人か見受けられましたが、ソーシャルディスタンスは保っていました」と話した。

閉会式で辻智子教頭は「今回の皆さんの頑張りにはコロナへの恐怖を吹き飛ばし

限られた時間の中で



企画を準備する生徒=17H

明倫祭の準備期間中は、新型コロナウイルス感染防止対策として生徒会が各教室を見回り、マスク着用等を呼び掛けた。物の貸し借りもなるべく控え、3密を避けるなど

生徒も感染防止を徹底した。一週間という短い準備期間であったが、明倫祭成功に向けて準備に汗を流す生徒や、生徒にアドバイスを送る先生の姿が見られた。

明倫の窓

今年の明倫祭のリリースページは、3階ベランダで行われた。クラスや廊下の窓などから応援でき、野外ライブのような雰囲気味わうことができた。どこからでも見られることで、多くの人が集まって例年より盛り上がっていた。新型コロナウイルスがなければ生まれなかったと考えると、思わぬ収穫と言える。明倫祭に新しい伝統のページが加わった年となるかもしれない。

てくれるものでした。皆さんが友達と知恵を絞って、今年しかできない、中身の濃い明倫祭を成し遂げてくれました。友達と助け合い支え合いながら今日のように楽しく、思い切りよく学び、自分を高めていってほしいと思います」と講評した。